

科目名	文化史			科目コード	5206
開講学科	総合教育科目・学芸員課程	単位数	4	形態	講義
教員名	木村太郎				
授業の目的及びテーマ					
<p>この授業では、造形芸術（絵画、彫刻、建築）に焦点を当て、西洋世界における文化の形成と変遷を学んでいく。その際の手続きとして、まずは一つの芸術作品における「線」「色彩」「光（明暗）」「構成」「形態」「空間」「表現媒体（材料）」を分析し、その作品が所属する時代と地域における様式的な特徴を認識する。そしてその上で、作品に映し出された社会的な状況、政治的なメッセージ、イデオロギー、慣習、作家の意図やパトロンの意図などを歴史的に把握することを目的とする。</p>					
授業概要					
<p>ここでは西洋世界において制作された造形芸術を取り上げるので、「文化史」という幅広い概念の中でも特に視覚芸術について考察する「美術史」、それも西洋世界という限定のもとでの「美術史」であるということを知っていただきたい。従って、学習の内容としては、「読む」「書く」に加えて「見る」も重要な作業となる。学生は課題をこなすだけでなく、美術館やギャラリーにでかけて作品をじっくり「見る」ことにも努めてほしい。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：「美術史」とは何か？／古代世界 第 2 回：初期キリスト教美術とビザンティン美術／中世は暗黒時代か？ 第 3 回：中世 ゴシック美術／後期ゴシック 第 4 回：イタリアの初期ルネサンス 第 5 回：イタリアの盛期ルネサンス 第 6 回：マニエリスム 第 7 回：北方ルネサンス 第 8 回：バロック（イタリア、スペイン、フランドル、オランダ） 第 9 回：フランス ヴェルサイユ宮殿とロココ美術 第 10 回：新古典主義とロマン主義 第 11 回：リアリズムと印象主義 第 12 回：ポスト印象主義 第 13 回：20 世紀の絵画と彫刻 第 14 回：20 世紀の建築と写真 第 15 回：まとめ</p>					
テキスト	『H・W・ジャンソン、アンソニー・F・ジャンソン『西洋美術の歴史』木村重信、藤田治彦訳（創元社）	参考文献			
評価方法：					
提出課題 4 件を以って評価する。					